

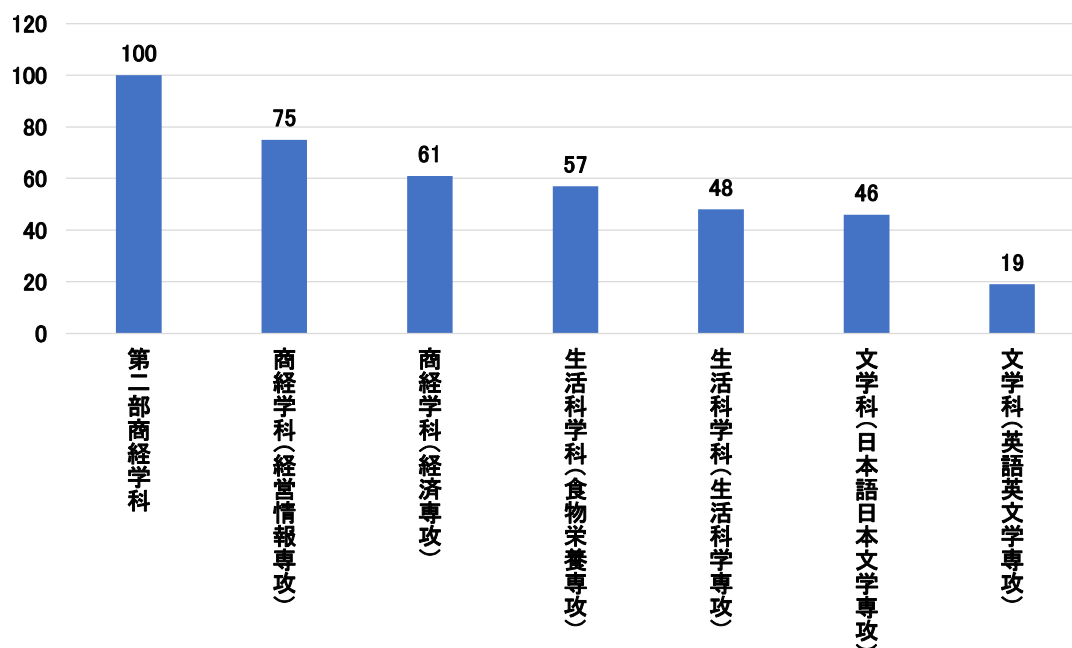
# 魅力ある県立短期大学づくりに関する 在校生へのアンケート集計結果

実施期間: 令和6年9月12日(木)～10月11日(金)  
回答数 : 406人

## 1 在籍している学科・専攻

各学科からの回答は以下のとおりであり, 計406名からの回答があった。

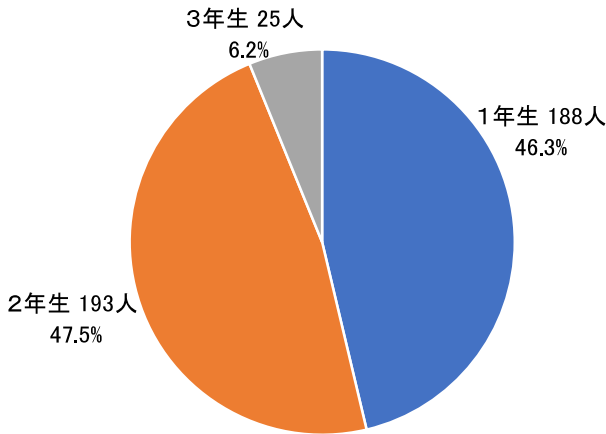
【単位:人】



## 2 回答者の構成

回答者の構成は、1年生と2年生が5割弱、3年生が約1割となった。

【単位：人】



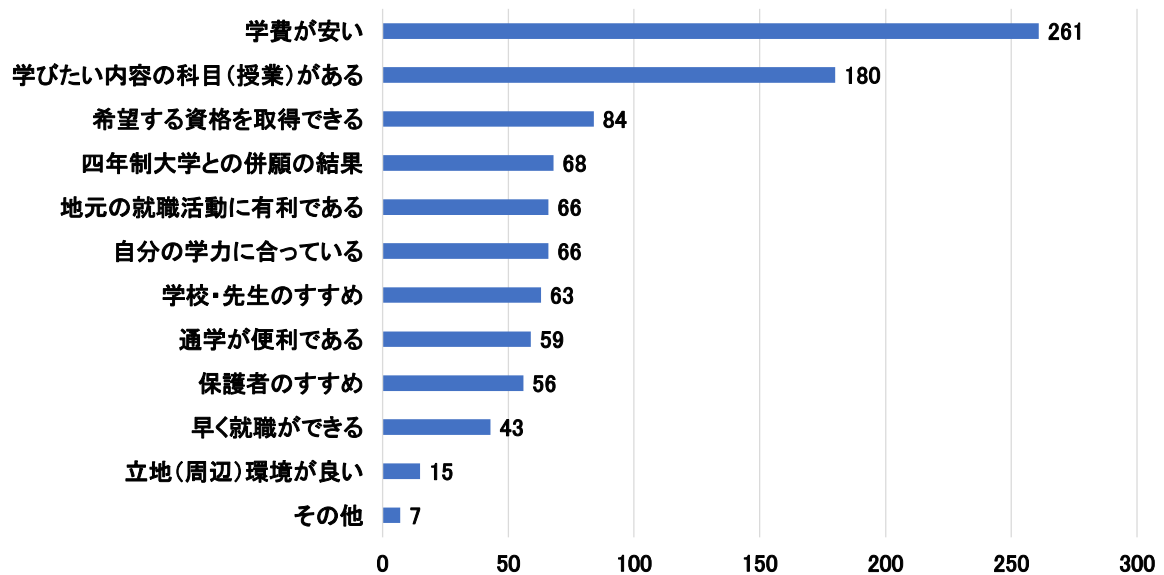
	1年生	2年生	3年生	総計
第一部	153	153		306
文学科（日本語日本文学専攻）	22	24		46
文学科（英語英文学専攻）	13	6		19
生活科学科（食物栄養専攻）	27	30		57
生活科学科（生活科学専攻）	28	20		48
商経学科（経済専攻）	28	33		61
商経学科（経営情報専攻）	35	40		75
第二部商経学科	35	40	25	100
計	188	193	25	406
回答率（回答者数/在校生数）×100	81.0%	77.8%	37.3%	74.2%

在校生数は令和6年4月1日現在

## 3 鹿児島県立短期大学を進学先とした理由（3つまで選択）

鹿児島県立短期大学を進学先とした理由は、「学費が安い」が最も多く、ついで「学びたい内容の科目（授業）がある」が多かった。

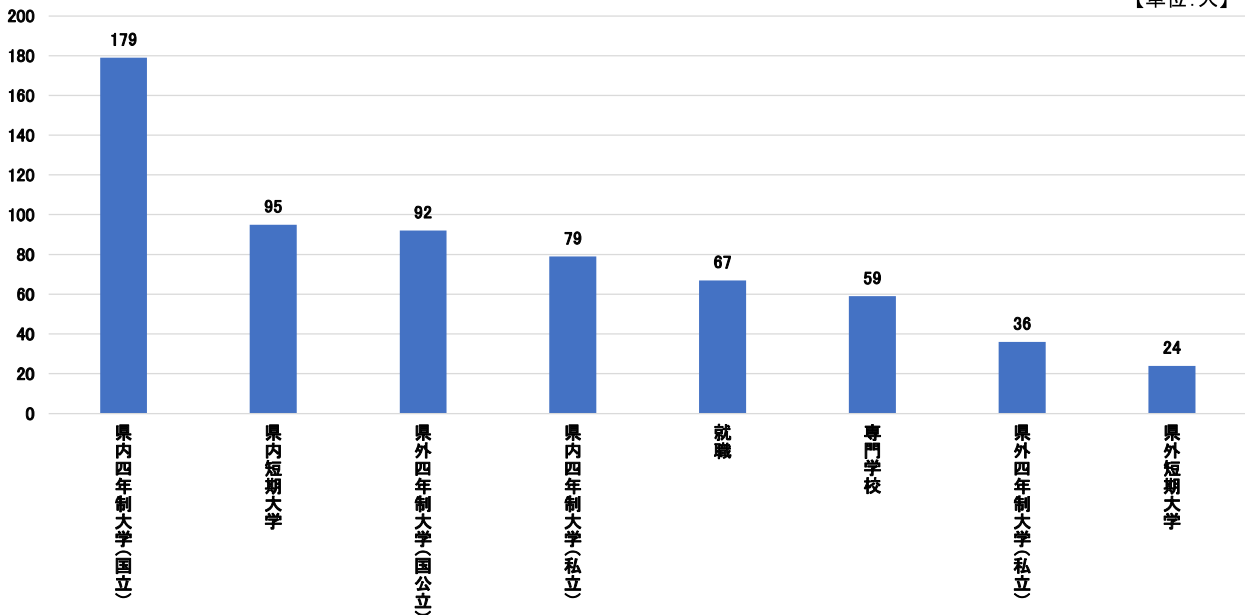
【単位：人】



#### 4 入学前に検討していた県立短期大学以外の進学先候補(該当するものすべて)

入学前に検討していた県立短期大学以外の進学先候補は、「県内四年制大学(国立)」が最も多く、次いで「県内短期大学」、「県外四年制大学(国公立)」が多かった。

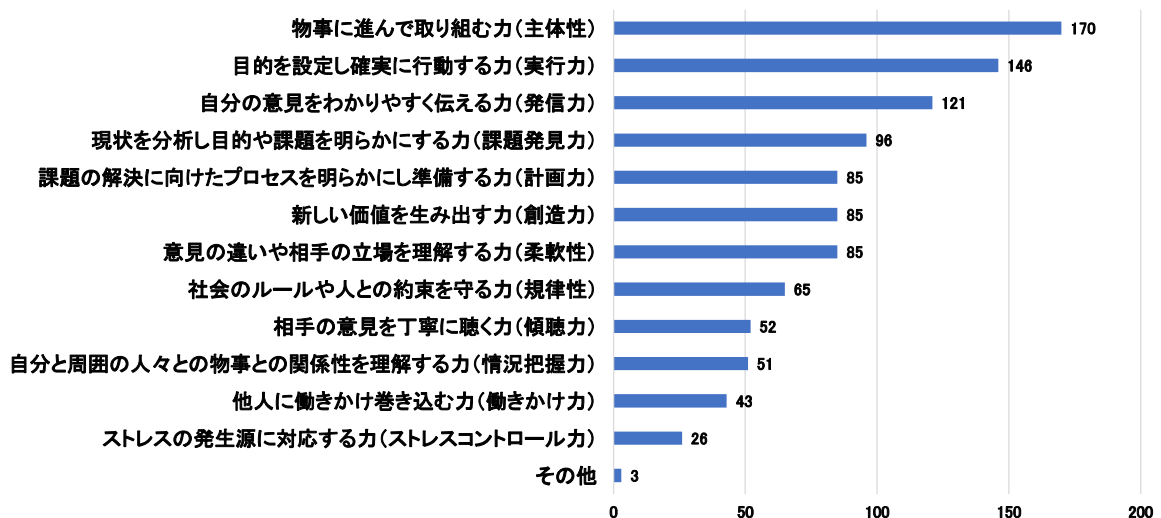
【単位:人】



#### 5 鹿児島県立短期大学で身につけたい・伸ばしたい力(3つまで選択)

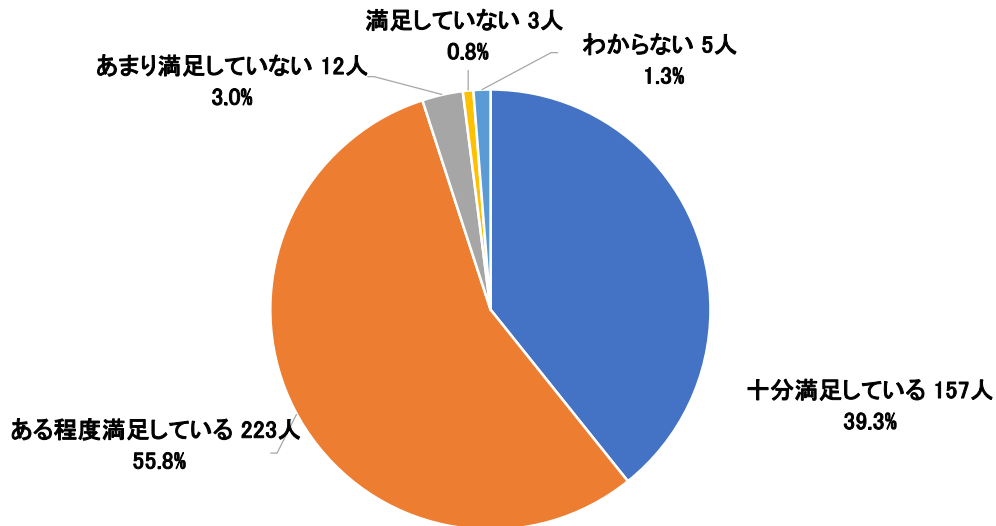
鹿児島県立短期大学で身につけたい・伸ばしたい力は、「物事に進んで取り組む力(主体性)」が最も多く、ついで「目的を設定し確実に行動する力(実行力)」、「自分の意見をわかりやすく伝える力(発信力)」が多かった。

【単位:人】



## 6 鹿児島県立短期大学の教育内容に対する満足度(一択)

鹿児島県立短期大学の教育内容について、約4割が「十分に満足している」と回答し、約6割が「ある程度満足している」と回答した。



## 7 鹿児島県立短期大学で更に学びたいこと(自由記述)

鹿児島県立短期大学で更に学びたいことについて33人から回答があり、その内容は、次表のとおりであった。

回答	回答
情報関係 ・プログラミング (Python)	国際情勢について
日本語関係 ・語彙力を鍛える授業 ・近代文学, 現代文学	宗教学
外国語関係 ・ロシア文学・ドイツ文学 ・語学学習の拡充	リベラルアーツ系の科目
法律	別学科の科目
経済 ・行動経済学について ・食品の市場経済 ・企業, 株について	有名な方による講義
簿記の学習の充実	少人数ゼミの充実
地域についての学習 ・地域経済 ・地域との交流	編入試験に向けた学習
各地方の工芸品について	公務員試験対策
保育所の栄養士になるための学習	問題解決力
管理栄養士の受験資格	

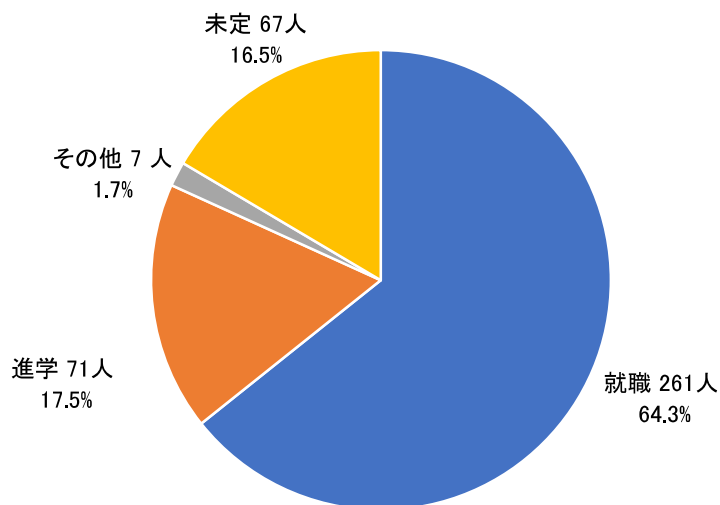
## 8 鹿児島県立短期大学で不足している教育内容(自由記述)

鹿児島県立短期大学で不足している教育内容について23人から回答があり, その内容は, 次表のとおりであった。

回答	回答
教員採用試験のための対策	マナーについて
語学学習の拡充	グループでの課題解決
英語のスピーキング学習	他専攻への授業解放
ミクロ経済学	発展的な学習
情報教育の充実	就職支援
科学分野の学習	四年制大学への移行
管理栄養士資格取得のための学習	ネットワークを活用した制度の構築 (課題提出等)

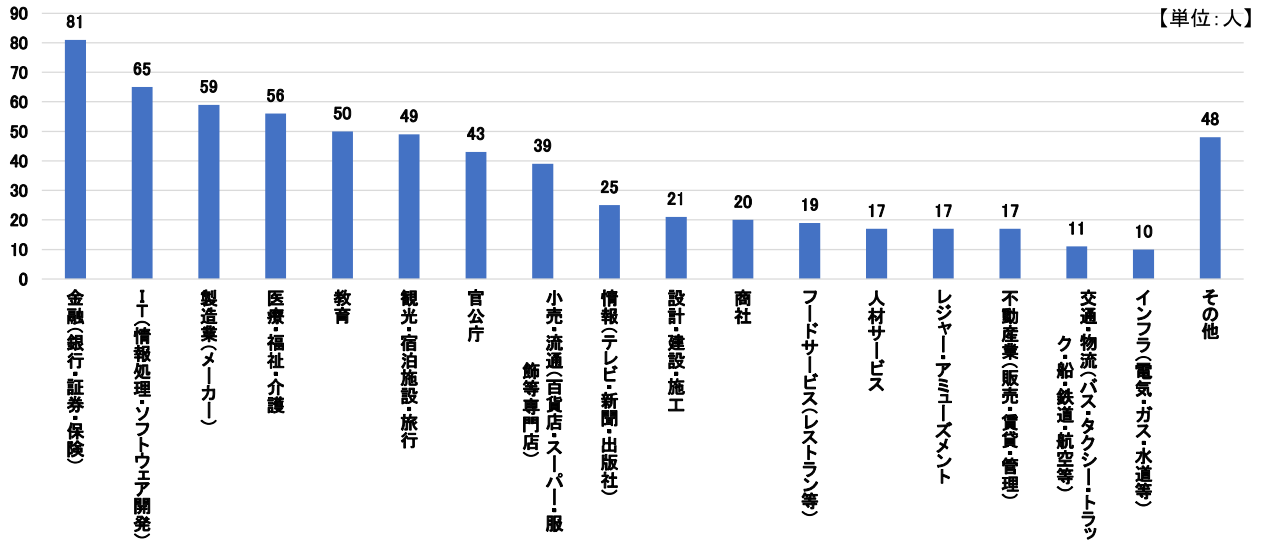
## 9 進路希望もしくは決定している進路(一択)

進路希望もしくは決定している進路について, 約6割が「就職」と回答し, 約2割が「進学」と回答した。



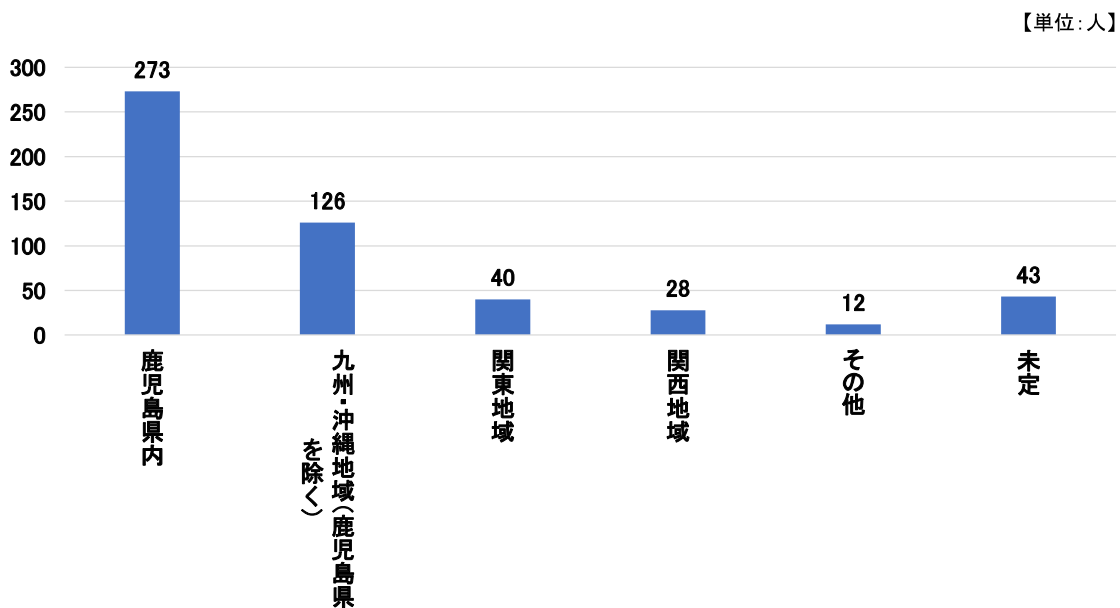
## 10 就職したい業種もしくは決定している業種(3つまで選択)

就職したい業種もしくは決定している業種は、「金融(銀行・証券・保険)」が最も多く、次いで「IT(情報処理・ソフトウェア開発)」、「製造業(メーカー)」が多かった。



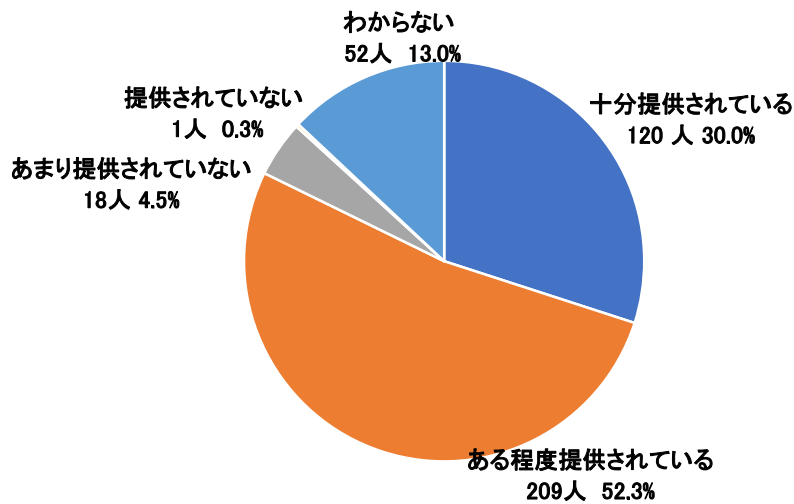
## 12 就職希望地域(2つまで選択)

就職希望地域は、「鹿児島県内」が最も多く、次いで「九州・沖縄地域(鹿児島県を除く)」が多かった。



## 12 県内企業の情報提供(一択)

学生への県内企業の情報提供について、約3割が「十分に提供されている」と回答し、約5割が「ある程度提供されている」と回答した。



## 12 県内企業への就職を検討するために必要な情報(3つまで選択)

県内企業への就職を検討するために必要な情報は、「給与」が最も多く、次いで「福利厚生」、「仕事内容」が多かった。

【単位:人】

